

平成29年度「メンタルタフネス研修」(初級・中級) 実施要項
～☆支援者自身が元気のでる研修☆～

1 目 的	被援助者のみならずケア従事者自身も、その援助過程で元気になれることが対人援助サービスには大切です。その為には、対人援助サービスに伴うストレスに、「折れない心」で自分を上手に表現し、他者との連携をとれることが求められます。この目的の下、コミュニケーション・スキルを磨き、自己の気づかなかった「内的な回避行動」を行動形成法（構成的集団認知行動療法）の体験を通して学びます。								
2 期 日	<table border="0" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%">初級コース</td> <td style="width:50%">中級コース</td> </tr> <tr> <td>①1日目：5月31日(水)</td> <td>④中級1日目：6月30日(金)</td> </tr> <tr> <td>②2日目：6月1日(木)</td> <td>⑤中級2日目：9月11日(月)</td> </tr> <tr> <td>③3日目：6月29日(木)</td> <td>⑥中級3日目：9月19日(火)</td> </tr> </table>	初級コース	中級コース	①1日目：5月31日(水)	④中級1日目：6月30日(金)	②2日目：6月1日(木)	⑤中級2日目：9月11日(月)	③3日目：6月29日(木)	⑥中級3日目：9月19日(火)
初級コース	中級コース								
①1日目：5月31日(水)	④中級1日目：6月30日(金)								
②2日目：6月1日(木)	⑤中級2日目：9月11日(月)								
③3日目：6月29日(木)	⑥中級3日目：9月19日(火)								
3 場 所	茨城県総合福祉会館4階 大研修室 水戸市千波町1918								
4 対 象 者	社会福祉施設・社会福祉協議会等に勤務する対人援助に携わる職員 【各日定員90名】 <u>※先着順です。受講できない方のみ、本会より電話にてご連絡致します。</u>								
5 研修日程	別添、研修日程のとおり。(1日のみの受講も可能です。)								
6 受 講 料	各コース3日間で 7,500円 (1日あたり2,500円) <u>※研修時に、毎回受講料2,500円をお持ちください。</u> ※1日のみの受講も可能です。当日、受付にてお支払いください。 おつりのないようお願いします。								
7 申込期日	平成29年4月20日(木)～各コース開催日の1週間前までとします。 <u>(本会会員の事業所は、4/20(木)以前でも申込み可とします。)</u> 申込者が会場の定員(90名)を超えた場合は、期日前でも締切りといたします。受講不可の方については、本会より電話にてご連絡いたします。								
8 申込方法	別紙受講申込書に必要事項を記載し、 <u>申込期日期間内に、FAXにより</u> 下記まで送付してください。 <u>※FAX到達確認の電話は不要ですが、不達の場合は研修受講ができない場合がございますので予めご了承ください。</u>								
9 そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ① 受講申し込み後に、欠席または申し込み事項に変更がある場合は、速やかに茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部にご連絡ください。無断欠席の場合は、後日、受講料を請求することがありますので、予めご了承ください。 ② 受講申込書に記載された個人情報は、当該研修の運営管理の目的にのみ使用いたします。なお、本研修の受講者名簿に、氏名・所属・職名を掲載いたしますので、ご了承下さい。 ③ 駐車場の収容台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。 ④ 天候等の理由により、研修室の安全が確認できない場合は、中止することもありますのでご了承ください。受講当日の時間の変更等は、本会ホームページに掲載します。⇒「茨城県社会福祉協議会平成29年度社会福祉従事者研修」で検索してください。 ⑤ 服装は、体温調節ができるものをご着用下さい。 ⑥ <u>昼食は、各自ご持参ください。</u> ⑦ 研修時に、配慮が必要な方は、事前に下記までご連絡ください。 								
10 問 い 合 わ せ・参 加 申 込 先	社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会 福祉人材・研修部 (平間・萩原) 〒310-8586 水戸市千波町1918 TEL 029-244-3755 FAX 029-244-3210								



(初級コース) 研 修 日 程

【初級1日目】

日 時	研修科目および講師名	ねらい
【5月31日】 9:15～9:45 9:45～10:00	受 付 開講／オリエンテーション	
10:00～12:00	【講 義・演習】 「コミュニケーション・トレーニング」1 ①肯定メッセージ法 ②フィードバック法 ③シェアリング法	ケア従事者に必要なコミュニケーションの理論を学び、自己表現の仕方やコミュニケーション・スキルを磨く。
12:00～13:00	休憩・昼食	
13:00～16:00	【講義・演習】 午前中のつづき 講 師：内閣府認証特定非営利活動法人 日本ケア・カウンセリング協会 代表理事／臨床心理士 品川 博二 氏	受講生のグループ演習を通して、理解の共有化を図る。

【初級2日目】

【6月1日】 9:15～9:45 9:45～10:00	受付 オリエンテーション	
10:00～12:00	【講義・演習】 「行動形成法実技演習」1 ①認知行動療法の基礎知識 ※認知療法とは、認知（考え方）を修正する療法です。ただ、考え方を考えるだけで心の問題がなんとかなるとそう簡単ではありません。何が大事になるかという、実際に行動しながら改善することが大事になります。これを行動療法と言います。この2つを組み合わせたものが「認知行動療法」です。 ②行動形成法の体験 ※行動形成法とは、最新の脳科学の知見に基づき、認知行動療法とナラティブ・アプローチとのコラボレーションとしての、集団行動変容の技法です。	「行動形成法」の理解と体験を通して、自己の回避行動に気づき、考え方の変え方、行動を改善することを学ぶ。 ※ナラティブ・アプローチとは、患者や相談者を理解する際に、彼らの主観を含めた全体性を重視するアプローチです。
12:00～13:00	休憩・昼食	
13:00～16:00	【講義・演習】 午前中のつづき	
16:00	閉 会	

【初級3日目】

【6月29日】 9:15～9:45 9:45～10:00	受付 オリエンテーション	
10:00～12:00	【講義・演習】 「コミュニケーション・トレーニング」2 ①ロールプレイ法 ※ポジションとメッセージをスイッチしながら、空間体験をセルフ・モニタリングする、気づきの体験学習法 ②リフレーミング法※ ※ネガティブフレームをポジティブフレームにを变えることで、別の視点を持たせます。 ③コンセンサス法※ ※私たちが健全な社会活動を営むには、他者と適切に合意形成（コンセンサス）するコミュニケーション能力が求められます。米国NASAの訓練プログラムを応用した、コンセンサス・ゲームを行います。	「 <u>他者援助を通じた自己成長</u> 」としてのコミュニケーションの理論と技術の応用編。特に、「 <u>セルフ・エンゲージメント理論</u> 」を通して対人援助の枠組みを再構築する。 ※セルフ・エンゲージメント理論とは、私たちの体験を感覚・感情・思考の階層構造で理解する、ケアリングについての最新の理論と技術です。セルフ・エンゲージメントの視点からすべてのケア従事者に必要な、ヒヤリ・ハットの心理学を学びます。
12:00～13:00	休憩・昼食	
13:00～16:00	【講義・演習】 午前中のつづき	
16:00	閉会	

☆講師紹介：日本ケアカウンセリング協会 代表理事 品川 博二 氏（臨床心理士）

臨床心理士、専門は、ターミナル・ケアおよび生活習慣病における、認知行動療法とナラティブ・アプローチとしての「行動形成法」（認知と行動の集団変容法）の実践研究。早稲田大学卒業後、東京教育大学（現、筑波大学）教育相談研究所にて臨床研修を終了。千葉県・磯ヶ谷病院心理室長を経て、2000 年内閣府認証・特定非営利活動法人日本ケア・カウンセリング協会を創立、同代表理事。これまでに東京学芸大学、目白大学大学院、千葉県医療技術大学校の講師を歴任、また横浜地裁の精神鑑定人（心理分析）も務めた。現在、札幌学院大学社会連携センター講師。聖路加国際病院精神腫瘍科、日本カウンセリング学会・日本行動療法学会所属。現在、東日本大震災の復興に向けて、「もりおか復興支援センター」等への心理援助プログラムを実施した。（日本財団・三菱商事助成事業）。

(中級コース) 研 修 日 程

【中級1日目】

日 時	研修科目および講師名	ねらい
【6月30日】 9:15～9:45 9:45～10:00	受 付 開講／オリエンテーション	
10:00～12:00	【講 義・演習】 「セルフ・エンゲージメント理論」(グループ演習) *セルフ・エンゲージメントとは、体験構造(感覚・感情・思考)の「整い」の視点から、人間関係現象を分析するケアリングの基礎概念です。この視点を学ぶことで、ケースに関する分析力が上がり、事例の診断と介入の腕が磨かれます。 講師のレクチャーフォーラム法により、グループ演習を媒介に、受講生の理解を深めます。	臨床心理学の理論を福祉実践に応用する枠組みを学ぶ。 初級での体験学習をスーペラ(上位の)視点で把握する。
12:00～13:00	休憩・昼食	
13:00～16:00	【講義・演習】 午前中と同じ 講 師：内閣府認証特定非営利活動法人 日本ケア・カウンセリング協会 代表理事／臨床心理士 品川 博二 氏	

【中級2日目】

【9月11日】 9:15～9:45 9:45～10:00	受付 オリエンテーション	
10:00～12:00	【講義・演習】 「行動形成法実技演習」2 ①認知行動療法の基礎知識 ※認知療法とは、認知(考え方)を修正する療法です。ただ、考え方を変えるだけで心の問題がなんとかなるとそう簡単ではありません。何が大事になるかという、実際に行動しながら改善することが大事になります。これを行動療法と言います。この2つを組み合わせたものが「認知行動療法」です。 ②行動形成法の体験 ※行動形成法とは、最新の脳科学の知見に基づき、認知行動療法とナラティブ・アプローチとのコラボレーションとしての、集団行動変容の技法です。	「行動形成法」の体験を深め、回避行動の構造を読み、自己の気づかなかったテーマに気づく。物事の認知と行動のシステムを理解して、対人援助の枠組みとして応用する。 ※ナラティブ・アプローチとは、患者や相談者を理解する際に、彼らの主観を含めた全体性を重視するアプローチです
12:00～13:00	休憩・昼食	
13:00～16:00	【講義・演習】 午前中と同じ	
16:00	閉 会	

【中級3日目】

【9月19日】 9:15～9:45 9:45～10:00	受付 オリエンテーション	
10:00～12:00	【講義・演習】 「Ifグループ(集中グループ体験法)」 ※Ifグループとは、グループ参加者とペアの観察者によって構成される集中グループ体験です。自他のコミュニケーションの有り方を、二人称と三人称の人称関係構造から分析検討します。	人間関係を人称構造の視点から分析し、その対人援助の在り方を再検討する。援助者としての自己を集团的自己分析法で考察する。
12:00～13:00	休憩・昼食	
13:00～16:00	【講義・演習】 午前中と同じ	
16:00	閉会	



初級コースより深めた内容が中級コースですが、興味のある日程でご参加ください。講義と演習により、難しい臨床心理学の世界をわかりやすく学び、仕事やプライベートにおける人間関係やコミュニケーションなどに生かしていきます。

社会福祉従事者研修のQRコードはこちら

(平成29年度の社会福祉従事者研修事業体系表がご覧になることができます。)



-補足説明-

ケア・カウンセリングとは：人間とは「<いのち>の現れをいかに表すか」という意味を求める存在である。私たちは「ただ生きている」という現象にではなく、「いかに生きるか」という表現に、その意味を求める。そしてこの表現は、他者との「良き関わり」(ケアリング)の内に創られる。ケアリングが、他者援助を通じた私たちの<いのち>のワーク(確認作業)であるなら、このワークをカウンセリングの理論と技術でサポートするのが、ケア・カウンセリングの意義であり、意味なのである。

※この茨城県社会福祉協議会（以降、社協と言う）の「メンタルタフネス研修（初級・中級）」は特定非営利活動法人日本ケア・カウンセリング協会（以降、協会と言う）主催の「ケア・カウンセラー養成講座」と連携され、希望者には「ケア・カウンセラー」資格が取得できます。

*「ケア・カウンセラー」の名称は特許庁に登録されており、日本ケア・カウンセリング協会に法的権利が認められています。協会の許諾を得ない者がこの名称を使用して利益を得た場合、協会に差し止め請求権と損害賠償権が認められています（商標登録法）。

*「ケア・カウンセラー」は協会の任用資格ですので、資格登録には協会に入会する必要があります。（ケア・カウンセラー登録は本人の自由です）。

*本研修終了書は社協が発行します（協会入会は不要）。

*ケア・カウンセラー4級のみ、書類選考（筆記試験無し）で登録が認められています（要、協会入会）。

*ケア・カウンセラー3級以上は筆記試験、2級以上は実技試験があります。

※メンタルタフネス研修の初級・中級いずれの1日でも参加されれば、協会のケア・カウンセリング必修単位として加算されます。

①本会研修を合計24単位（時間）受講で、「ケア・カウンセリング研修終了書（4級）」（ケア・カウンセラー4級受験資格）

②本会研修を合計48単位（時間）受講で、「ケア・カウンセリング研修終了書（3級）」（ケア・カウンセラー3級受験資格）

※本会で足りない単位は、日本ケア・カウンセリング協会主催等の研修を受講してください。

③ 昨年の受講生は、ケア・カウンセラー養成講座の10単位（時間）分が認定されます。その為、新年度の初級・中級のどの講座を受講しても、合計が24単位（時間）で4級受験資格が得られます。

④受験資格者は、毎年11月、東京で開催されるケア・カウンセラー試験に合格されると「ケア・カウンセラー任用資格」を取得できます。

⑤茨城県社会福祉協議会主催「メンタルタフネス講座」は、日本ケア・カウンセリング協会の「ケア・カウンセラー養成講座」の連携講座に認定されています。本会で受講された方の出席・単位等の管理は茨城県社会福祉協議会です。（それ以外の講座の管理はその講座の主催者になります）。

○本研修の終了時に、「修了証明書」を発行する予定です。

（例）初級1日（5単位）+ 中級1日（5単位）受講すると ⇒ 10単位取得

初級3日（15単位）+ 中級2日（10単位）受講すると ⇒ 25単位取得

「ケア・カウンセラー」についてのお問い合わせは、メールで日本ケア・カウンセリング協会へ



〒112-0013 東京都文京区音羽 1-6-8 音羽小峰マンションズ 1F

http://www.npojcca.org e-mail: npo-jcca@npojcca.org